

加東市で採集された注目すべき昆虫

徳平 拓朗¹⁾・高尾 海星²⁾

1. はじめに

筆者らは兵庫県加東市河高に住んでおり、同じ集団登校の班で同じ小学校に通っていた。二人とも小学生のころから昆虫が好きで、平日は学校や通学路で少しずつ採集し、休日には自宅周辺や他の地域へ採集に行った。

徳平がこれまでに加東市で採集した昆虫は標本箱3箱ほど、高尾が採集した昆虫は標本箱4箱ほどである。ただし採集した昆虫には多少偏りがあり、バッタ目などは少ない。

本稿では、筆者らがこれまでに兵庫県加東市で採集または目撃した昆虫のうち、環境省レッドリスト、兵庫県版レッドリスト、神戸市版レッドデータブックに掲載されている、他ではあまり得られない昆虫を報告する。

2. 採集地

採集地は全て兵庫県加東市で、筆者らの自宅のある河高地区、その隣の筆者らが通っていた小学校のある高岡地区、兵庫県立やしろの森公園などのある上久米地区での採集が主である。加東市は兵庫県中央部やや南よりに位置し、山地は多くなく、ため池が多い。

3. 採集した昆虫

種名の後ろに、環境省、兵庫県版および神戸市版レッドデータでのランクを記した。

トンボ目

ヤンマ科

カトリヤンマ (兵庫県:C, 神戸市:C)

1ex., 兵庫県加東市河高 (以下加東市略), 6. VII. 2010, 高尾

学校で校舎内に迷い込んだ個体がよく見られた。加東市では普通に見られる。

エソトンボ科

タカネトンボ (兵庫県:要注目)

1ex., 高岡, 30. IX. 2009, 高尾

トンボ科

ヨツボシトンボ (神戸市:要調査)

1ex., 上久米, 1. VI. 2008, 徳平

ナニワトンボ (環境省:VU, 兵庫県:C, 神戸市:C) (図1)

1ex., 上久米, 10. XI. 2007, 徳平

1ex., 上久米, 10. VIII. 2008, 徳平

6exs., 河高, 6. IX. 2009, 高尾

2exs., 河高, 7. IX. 2009, 高尾

複数の池で得られた。採集地での個体数は少ない。

オオキトンボ (兵庫県:B, 神戸市:要調査)

1ex., 河高, 14. XI. 2011, 徳平

他のトンボがあまりいない時期だったのでもしやと思い採集してみると本種だった。採集地点は隣の小野市まで数十メートルのところだった。

バッタ目

マツムシ科

スズムシ (兵庫県:要注目)

1ex., 高岡, 24. VII. 2009, 高尾

石の下にひそんでいるのを目撃した。鳴き声を聞くことがよくある。

カメムシ目

コオイムシ科

コオイムシ (環境省:NT, 神戸市:D)

1ex., 上久米, 3. IX. 2009, 徳平

1ex., 河高, 2. VI. 2009, 高尾

4exs., 河高, 12. IX. 2009, 高尾

自宅のすぐ近くの水田などで多数見られた。加東市では普通に見られる。

タイコウチ科

ヒメタイコウチ (兵庫県:A, 神戸市:A) (図2)

1ex., 上久米, 18. IV. 2010, 徳平

3exs., 河高, 11. V. 2009, 高尾

¹⁾ Takurô TOKUHIRA 兵庫県立小野高等学校; ²⁾ Kaisei TAKAO 加東市立滝野中学校

1ex., 河高, 16. V. 2010, 高尾
 2exs., 河高, 17. V. 2010, 高尾
 1ex., 河高, 18. V. 2010, 高尾
 1ex., 河高, 19. V. 2010, 高尾
 1ex., 河高, 20. V. 2010, 高尾
 1ex., 河高, 21. V. 2010, 高尾
 1ex., 河高, 23. V. 2010, 高尾
 1ex., 河高, 25. V. 2010, 高尾
 2exs., 河高, 28. V. 2010, 高尾

河高地区では, U字溝に溜まった落ち葉の中で繁殖していた。落ち葉の中では保護色となり発見するのは難しかった。生息地は限られるが, そこでの個体数は少ない。

アミメカゲロウ目

ツノトンボ科

キバネツノトンボ (環境省:EN, 兵庫県:A)

1ex., 高岡, 月日不明. 2004, 徳平

小学校の敷地内を飛んでいたところを帽子で採集した。採集はしたが, 当時筆者には標本作製技術がなかったため, 標本は残っていない。

甲虫目

ゲンゴロウ科

シマゲンゴロウ (環境省:NT, 神戸市:C)

1ex., 河高, 2. IX. 2009, 高尾

コガネムシ科

ヒゲコガネ (兵庫県:B, 神戸市:要調査)(図3)

1ex., 河高, 1. VIII. 2008, 徳平

1ex., 河高, 8. VIII. 2008, 徳平

1ex., 河高, 11. VIII. 2008, 徳平

2exs., 河高, 15. VIII. 2008, 徳平

1ex., 河高, 7. VII. 2011, 高尾

1ex., 河高, 3. VIII. 2011, 徳平

4exs., 河高, 12. VIII. 2011, 高尾

1ex., 下滝野, 19. IX. 2008, 徳平

主に加古川流域の外灯で得られた。同じ場所で一度にたくさん得られることはあまりなく, 車に轢かれていた個体もいた。

アカマダラコガネ (環境省:DD, 兵庫県:A, 神戸市:B)(図4)

1ex., 高岡, 日不明. VI. 2006, 徳平

1ex., 上久米, 15. VI. 2008, 徳平

高岡地区の記録は, 小学校のプールで死骸を拾ったものである。

ホタル科

ゲンジボタル (神戸市:D)

2exs., 河高, 4. VI. 2010, 高尾

4exs., 馬瀬, 14. VI. 2010, 高尾

テントウムシ科

ハラグロオオテントウ (兵庫県:要注目)(図5)

1ex., 河高, 28. VI. 2007, 徳平

クワについていたところを採集したが, そのクワは現在切り倒され道路になってしまった。採集時にはクワカミキリも見られた。

カミキリムシ科

クワカミキリ (兵庫県:要調査)

1ex., 河高, 24. VII. 2009, 高尾

ハチ目

アナバチ科

キアシハナダカバチモドキ (環境省:VU, 神戸市:C)

1ex., 下滝野, 16. VII. 2008, 徳平

中学校のテニスの練習をする場所の隅で発生していた。

ハエ目

シギアブ科

キアシキンシギアブ (神戸市:D)

1ex., 河高, 14. V. 2012, 徳平

加古川の堤防で下草にとまっていた。網を持参していなかったため手掴みで採集した。

チョウ目

セセリチョウ科

オオチャバネセセリ (神戸市:要調査)

6exs., 河高, 14. IX. 2009, 徳平

シジミチョウ科

キマダラルリツバメ (環境省:NT, 兵庫県:B)(図6)

4exs., 高岡, 28. VI. 2010, 高尾

5exs., 高岡, 2. VII. 2010, 高尾

7exs., 高岡, 24. VI. 2011, 高尾

5exs., 高岡, 25. VI. 2011, 高尾

夕方, 松林の周辺を活発に飛び回っていた。採集時期が遅かったため, 後翅の尾状突起の欠けているものがほとんどだった。

ウラナミアカシジミ (兵庫県:C, 神戸市:C)

2exs., 上久米, 15. VI. 2008, 徳平

クワの花で吸蜜していたところを採集した。

ミドリシジミ (兵庫県:要注目,神戸市:C)

1ex., 上久米, 15. VI. 2008, 徳平

7exs., 上久米, 29. VI. 2008, 徳平

夕方にハンノキ林で複数の個体が乱舞していた。採集地での個体数は少ない。

タテハチョウ科

スミナガシ (神戸市:D)

1ex., 上久米, 10. VIII. 2008, 徳平

ウラギンスジヒョウモン (環境省:VU,兵庫県:B,神戸市:A)

1ex., 上久米, 28. IX. 2008, 徳平

ジャノメチョウ科

ウラナミジャノメ (兵庫県:B,神戸市:今見られない)(図7)

1ex., 高岡, 28. VI. 2010, 高尾

草の茂った水路の周辺を飛んでいた。採集したとき他の個体も探したが発見することができなかった。

コブガ科

サラサリंगा (神戸市:要調査)

1ex., 河高, 20. IX. 2009, 徳平

スズメガ科

オオシモフリスズメ (兵庫県:C,神戸市:C)

1ex., 下久米, 22. IX. 2011, 徳平

外灯の下に落ちていたところを採集したが、ほとんど死にかけてボロボロだった。

ヤガ科

アヤモクメキリガ (神戸市:要調査)

1ex., 河高, 21. I. 2012, 徳平

外灯の下に落ちていたところを採集した。

5. 反省と課題

これまでに採集してきた地域は市内のごく一部であるため、市内の他の地域にも積極的に採集に行くようにしたい。また、種類についても幅広く採集するようにも心掛けたい。

6. 文 献

環境省, 2012. 第4次レッドリスト. http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_top.html

兵庫県, 2012. 兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドリスト 2012. <http://www.pref.hyogo.jp/JPN/apr/hyogoshizen/reddata2012>

神戸市, 2010. 神戸の希少な野生動植物 - 神戸版レッ



図1 ナニワトンボ.



図2 ヒメタイコウチ.



図3 ヒゲコガネ.



図4 アカマダラコガネ.



図5 ハラグロオオテントウ.



図6 キマダラルリツバメ.



図7 ウラナミジャノメ.